

# サンクテラス用自在桁

## 取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

### 安全に関する記号 記号の意味



**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

### 一般情報に関する記号



**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

## <施工の前に>



**注意**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 本製品は、木造住宅の3階までの部分に取付けられるように設計しています。  
4階以上および、アパートの通路等の共有部分への取付けはできません。なお、サイズにより施工可能な階数が制限されます。「サンクテラスR・Fタイプ(Z107~Z110, Z114)」の取付説明書を参照してください。
- 設置場所の確認をしてください。
  - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
  - ・施工場所の気象条件(風、雪など)に合った製品かどうか確認してください。
  - ・建物の屋根からの雪の落下を、直接受けない位置かどうか確認してください。
  - ・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
  - ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離(はくり)のおそれがあります。
  - ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内(屋根・パネルなどで囲んだ内部)にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離(はくり)のおそれがあります。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

## <施工上のご注意>

### ⚠ 注意

- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 柱の移動は、弊社指定範囲内にしてください。
- 樋の末端以降の排水については、当社供給範囲外になっていますので、施工店様または施主様で手配してください。
- 風当たりの強い場所では、テラスの周囲を囲わないようにしてください。風が抜けなくなり破損のおそれがあります。
- アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

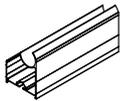
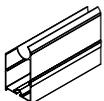
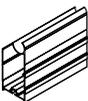
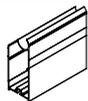
## <基礎工事について>

### ⚠ 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- 塩分を含む砂および塩素系のモルタル混和剤は使用しないでください。腐食の原因になります。
- コンクリート(またはモルタル)には、急結剤は使用しないでください。使用するとアルミが腐食する原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

## ■ 梱包明細表

### ①\_1自在桁セット

名 称	略 図	員 数														
		600タイプ														
		1.0間			1.5間			2.0間			2.5間通し			3.0間通し		
		3 } 6 R	7 } 10 R	12 } 15 R	3 } 6 R	7 } 10 R	12 } 15 R	3 } 6 R	7 } 10 R	12 } 15 R	3 } 6 R	7 } 10 R	12 } 15 R	3 } 6 R	7 } 10 R	12 } 15 R
自在桁A-1		1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
自在桁A-2		-	1 (1) ※1	-	-	1 (1) ※1	-	-	1 (1) ※1	-	1	-	-	-	-	-
自在桁A-3		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 (1) ※1	-	1	-	-
自在桁A-4		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 (1) ※1	-

①\_1自在桁セット つづき

名 称	略 図	員 数														
		600タイプ														
		1.0間			1.5間			2.0間			2.5間通し			3.0間通し		
		3 } 6 尺	7 } 10 尺	12 ・ 15 尺	3 } 6 尺	7 } 10 尺	12 ・ 15 尺	3 } 6 尺	7 } 10 尺	12 ・ 15 尺	3 } 6 尺	7 } 10 尺	12 ・ 15 尺	3 } 6 尺	7 } 10 尺	12 ・ 15 尺
自在桁A-5		-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	1
自在桁B-1		1	1 (3) ※1	3	2	2 (5) ※1	5	3	3 (7) ※1	7	4	4 (9) ※1	9	5	5 (11) ※1	11
垂木取付金具		2	2 (6) ※1	-	4	4 (10) ※1	-	6	6 (14) ※1	-	8	8 (18) ※1	-	10	10 (22) ※1	-
垂木取付金具 12尺・15尺用		-	-	6	-	-	10	-	-	14	-	-	18	-	-	22
自在桁B中間用キャップ		2	2 (6) ※1	6	4	4 (10) ※1	10	6	6 (14) ※1	14	8	8 (18) ※1	18	10	10 (22) ※1	22
前枠倒れ止め金具 中間用		1	1 (3) ※1	3	2	2 (5) ※1	5	3	3 (7) ※1	7	4	4 (9) ※1	9	5	5 (11) ※1	11
前枠固定金具 ※2		2	2 (2) ※1	2	2	2 (2) ※1	2	2	2 (2) ※1	2	2	2 (2) ※1	2	2	2 (2) ※1	2
①-① M6×12六角ボルト		2	2 (6) ※1	6	4	4 (10) ※1	10	6	6 (15) ※1	15	8	8 (19) ※1	19	10	10 (24) ※1	24
①-② M6平座金		2	2 (6) ※1	13	4	4 (10) ※1	21	6	6 (15) ※1	29	8	8 (19) ※1	37	10	10 (23) ※1	47
①-③ M6バネ座金		2	2 (6) ※1	9	4	4 (10) ※1	16	6	6 (15) ※1	22	8	8 (19) ※1	28	10	10 (23) ※1	36
①-④ M6袋ナット		2	2 (6) ※1	9	4	4 (10) ※1	16	6	6 (15) ※1	22	8	8 (19) ※1	28	10	10 (23) ※1	36
①-⑤ φ4×13ナベピアスネジ		2	2 (6) ※1	6	4	4 (10) ※1	10	6	6 (15) ※1	16	8	8 (19) ※1	20	10	10 (23) ※1	36
①-⑥ φ4×15ナベタッピンネジ 2種 G=3		4	4 (13) ※1	13	8	8 (21) ※1	21	13	13 (30) ※1	30	17	17 (39) ※1	39	21	21 (47) ※1	47
①-⑦ M6×80六角ボルト		-	-	3	-	-	5	-	-	7	-	-	9	-	-	11

※1 ( )は、9尺・10尺を示します。

※2 前枠固定金具は、左右1ヶずつ梱包しています。

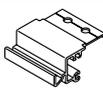
## ■ 梱包明細表 つづき

### ① 2自在桁セット

名 称	略 図	員 数									
		1500タイプ							3000タイプ		
		1.0間		1.5間		2.0間		2.5間 通し	1.0間	1.5間	2.0間
		3~6尺	7~9尺	3~6尺	7~9尺	3~6尺	7~9尺	3~6尺	3~6尺	3~6尺	3~6尺
自在桁A-3		1	—	1	—	1	—	—	—	—	—
自在桁A-4		—	1	—	1	—	1	1	—	—	—
自在桁A-5		—	—	—	—	—	—	—	1	1	1
自在桁B-1		1	3	2	5	3	7	4	3	5	7
垂木取付金具		2	6	4	10	6	14	8	6	10	14
自在桁B中間用キャップ		2	6	4	10	6	14	8	6	10	14
前枠倒れ止め金具 中間用		1	3	2	5	3	7	4	3	5	7
前枠固定金具 ※1		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
①-① M6×12六角ボルト		2	6	4	10	6	15	8	6	10	15
①-② M6平座金		2	6	4	10	6	15	8	6	10	15
①-③ M6バネ座金		2	6	4	10	6	15	8	6	10	15
①-④ M6袋ナット		2	6	4	10	6	15	8	6	10	15
①-⑤ φ4×13ナベピアスネジ		2	6	4	10	6	15	8	6	10	15
①-⑥ φ4×15ナベタッピンネジ 2種 G=3		4	13	8	21	13	30	17	13	21	30

※1 前枠固定金具は、左右1ヶずつ梱包しています。

**②自在桁端部部品セット**

名 称	略 図	員 数						
		A-1	A-2	A-3	A-4	A-4 Fタイプ 9尺	A-5	A-5 12尺 15尺
自在桁B		2	2	2	2	—	2	2
自在桁B-2		—	—	—	—	2	—	—
端部垂木取付金具		2	2	2	2	2	2	2
端部垂木取付金具 12尺・15尺用		—	—	—	—	—	—	2
自在桁B中間用キャップ		4	4	4	4	—	4	4
自在桁B-2用キャップ		—	—	—	—	4	—	—
自在桁B抜け防止用キャップ		1	1	—	—	—	—	—
前枠倒れ止め金具（端部用）		2	2	2	2	2	2	2
抜け防止金具		1	1	—	—	—	—	—
自在桁キャップA-1用 ※1		2	—	—	—	—	—	—
自在桁キャップA-2用 ※1		—	2	—	—	—	—	—
自在桁キャップA-3用 ※1		—	—	2	—	—	—	—
自在桁キャップA-4用 ※1		—	—	—	2	2	—	—
自在桁キャップA-5用 ※1		—	—	—	—	—	2	2
前枠固定金具 ※2		2	2	2	2	2	2	2

※1 自在桁A-1～5用キャップは左右1ヶずつ梱包しています。

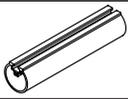
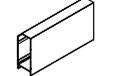
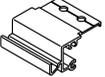
※2 前枠固定金具は、左右1ヶずつ梱包しています。

## ■梱包明細表 つづき

### ②自在桁端部部品セット つづき

名 称	略 図	員 数						
		A-1	A-2	A-3	A-4	A-4 タイプ 9尺	A-5	A-5 12尺 15尺
②-① M6×12六角ボルト		2	2	2	2	2	2	2
②-② M6平座金		2	2	2	2	2	2	2
②-③ M6バネ座金		2	2	2	2	2	2	2
②-④ M6袋ナット		2	2	2	2	2	2	2
②-⑤ φ4×13ナベピアスネジ		7	7	7	7	7	7	7
②-⑥ φ4×15ナベタッピンネジ2種 G=3		3	3	5	5	5	5	5
取付説明書	—	1	1	1	1	1	1	1

### ③自在桁連結材セット

名 称	略 図	員 数			
		A-1 A-2用	A-2 A-3用	A-5 3000用	A-5 12尺・15尺用
自在桁B		1	1	1	1
自在桁スリーブA-1・2用		1	—	—	1
自在桁スリーブA-3・4用		—	1	—	—
自在桁スリーブA-5用		—	—	1	1
垂木取付金具		2	2	2	—
垂木取付金具 12尺・15尺用		—	—	—	2
自在桁B中間用キャップ		2	2	2	2
前枠倒れ止め金具（中間用）		1	1	1	1
孔ふさぎシール（φ10）		2	2	2	2
前枠固定金具 ※1		2	2	2	2

※1 前枠固定金具は、左右1ヶずつ梱包しています。

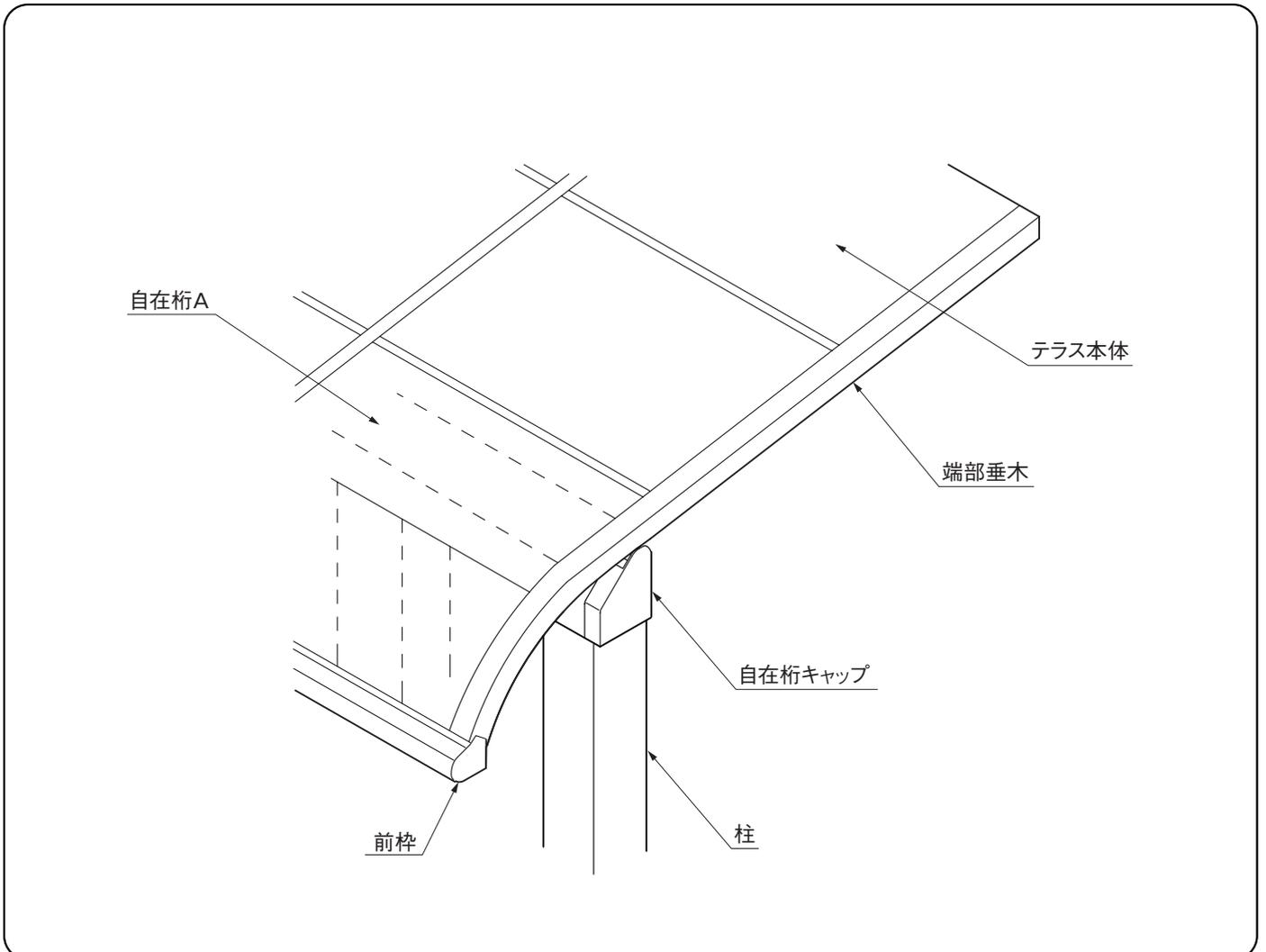
### ③自在桁セット つづき

名 称	略 図	員 数			
		A-1 A-2用	A-2 A-3用	A-5 3000用	A-5 12尺・15尺用
③-① M6×12六角ボルト		2	2	2	2
③-② M6平座金		2	4	4	4
③-③ M6バネ座金		2	2	2	2
③-④ M6袋ナット		2	2	2	2
③-⑤ φ4×13ナベピアスネジ		10	10	10	10
③-⑥ φ4×15ナベタッピンネジ2種 G=3		4	4	4	4
③-⑦ M6×80六角ボルト		—	—	—	—

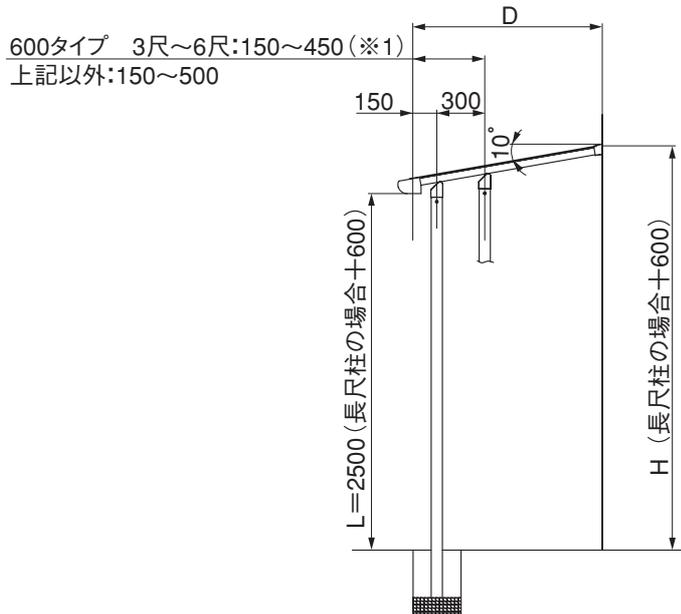
### ④自在桁スペーサーセット

名 称	略 図	員 数		
		1.0間用	1.5間用	2.0間用
自在桁スペーサー		1	1	1
④-① φ4×13ナベピアスネジ		5	5	5

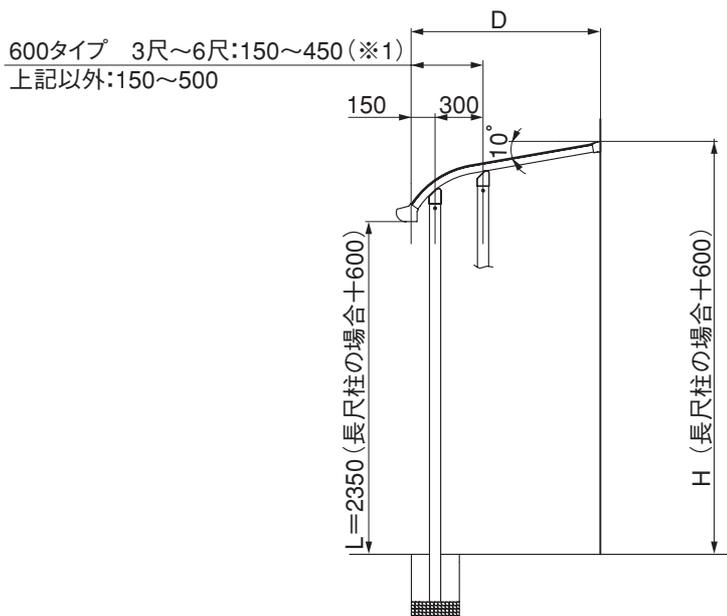
## 1. 各部の名称



## 2. 基本寸法図



Fタイプ



Rタイプ

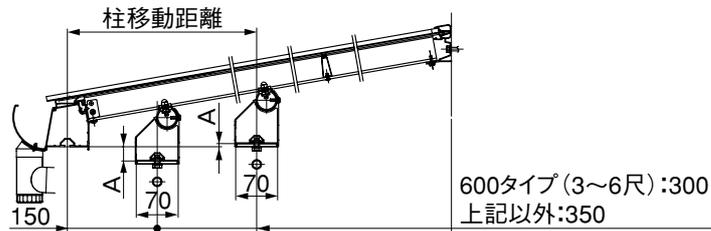
- ① 使用する柱は、テラスの前枠が標準の施工位置の場合（前枠下Fタイプ：2500、Rタイプ：2350）は長尺柱を、長尺柱の前枠位置で施工する場合（前枠下Fタイプ：3100、Rタイプ：2950）は自在桁用長尺柱を使用してください。

### 補足

- 柱の切断寸法は表2-1、表2-2を参照してください。
- 柱の施工位置等は、「サンクテラスR・Fタイプ（Z107～110、Z114）」の取付説明書をご参照ください。

### ポイント

- 600タイプで出幅3尺の場合、401mm以上は野縁が取付けできなくなるため、施工できません。（※1）
- 600タイプは351～449mmの範囲では、野縁が取付けできなくなるため、施工できません。（※2）

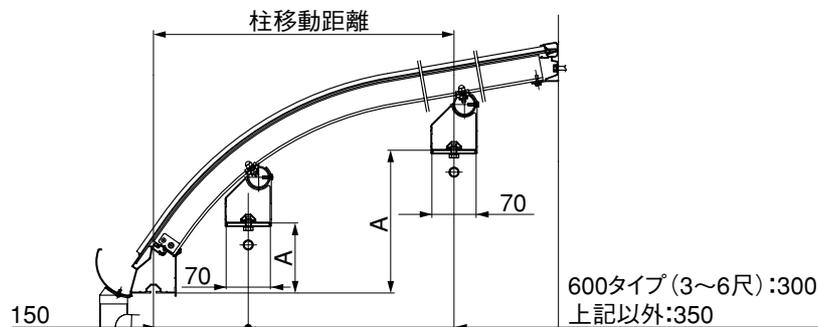


885 (3尺)、1185 (4尺)、1485 (5尺)、1785 (6尺)、2085 (7尺)  
2385 (8尺)、2685 (9尺)、2985 (10尺)、3585 (12尺)、4485 (15尺)

表2-1 FタイプA寸法表

柱移動距離 (mm)	600タイプ									1500タイプ			3000タイプ	
	1.0間~2.0間			2.5間通し			3.0間通し			1.0間~2.0間		2.5間通し	1.0間~2.0間	
	3~6尺	7~10尺	12~15尺	3~6尺	7~10尺	12~15尺	3~6尺	7~10尺	12~15尺	3~6尺	7~8尺	9尺	3~6尺	3~6尺
150	-24	-69	-188	-69	-94	-188	-94	-114	-188	-69	-89	-110	-89	-134
200	-15	-60	-179	-60	-85	-179	-85	-105	-179	-60	-80	-101	-80	-125
250	-6	-51	-170	-51	-76	-170	-76	-96	-170	-51	-71	-92	-71	-116
300	3	-42	-161	-42	-67	-161	-67	-87	-161	-42	-62	-83	-62	-107
350	12	-33	-152	-33	-58	-152	-58	-78	-152	-33	-53	-74	-53	-98
400	21	-24	-143	-24	-49	-143	-49	-69	-143	-24	-44	-65	-44	-89
450	30	-15	-134	-15	-40	-134	-40	-60	-134	-15	-35	-56	-35	-80
500	-	-6	-125	-6	-31	-125	-31	-51	-125	-6	-26	-47	-26	-71

※A寸法がマイナスの場合、その分柱を深く埋込むか、切断してください。  
プラスの場合は長尺柱を使用して、その分長くしてください。



885 (3尺)、1185 (4尺)、1485 (5尺)、1785 (6尺)  
2085 (7尺)、2385 (8尺)、2685 (9尺)、2985 (10尺)

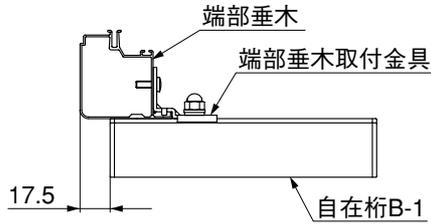
表2-2 RタイプA寸法表

柱移動距離 (mm)	600タイプ						1500タイプ			3000タイプ
	1.0間~2.0間		2.5間通し		3.0間通し		1.0間~2.0間		2.5間通し	1.0間~2.0間
	3~6尺	7~10尺	3~6尺	7~10尺	3~6尺	7~10尺	3~6尺	7~9尺	3~6尺	3~6尺
150	112	67	67	42	42	22	67	47	47	1
200	146	101	101	76	76	56	101	81	81	35
250	173	128	128	103	103	83	128	108	108	62
300	194	149	149	124	124	104	149	129	129	83
350	206	161	161	136	136	116	161	141	141	95
400	215	170	170	145	145	125	170	150	150	104
450	224	179	179	154	154	134	179	159	159	113
500	-	188	188	163	163	143	188	168	168	122

※A寸法がマイナスの場合、その分柱を深く埋込むか、切断してください。  
プラスの場合は長尺柱を使用して、その分長くしてください。

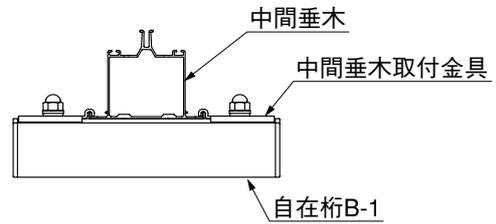
### 3. 垂木納り図

3-1 端部垂木取付金具納り図

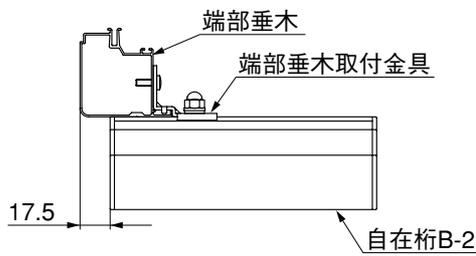


Fタイプ (3~8尺)  
Rタイプ (3~10尺)

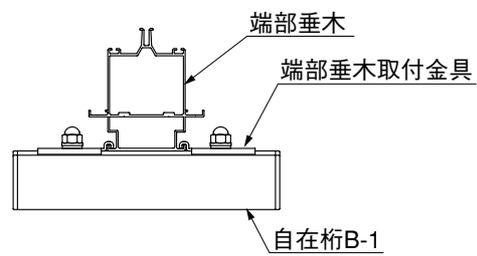
3-2 中間垂木取付金具納り図



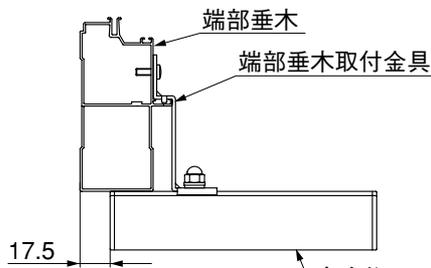
Fタイプ (3~8尺)  
Rタイプ (3~10尺)



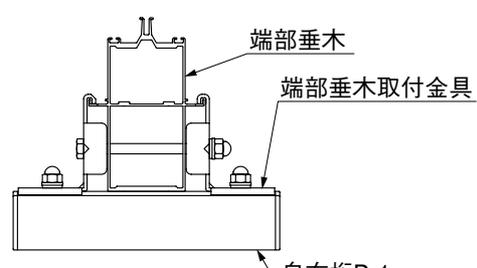
Fタイプ(9尺) 1500タイプ



Fタイプ(9尺) 1500タイプ



Fタイプ(12・15尺)



Fタイプ(12・15尺)

### 4. 基礎施工および垂木掛けの取付け

① 垂木掛けおよび長尺柱，自在桁用長尺柱を施工してください。

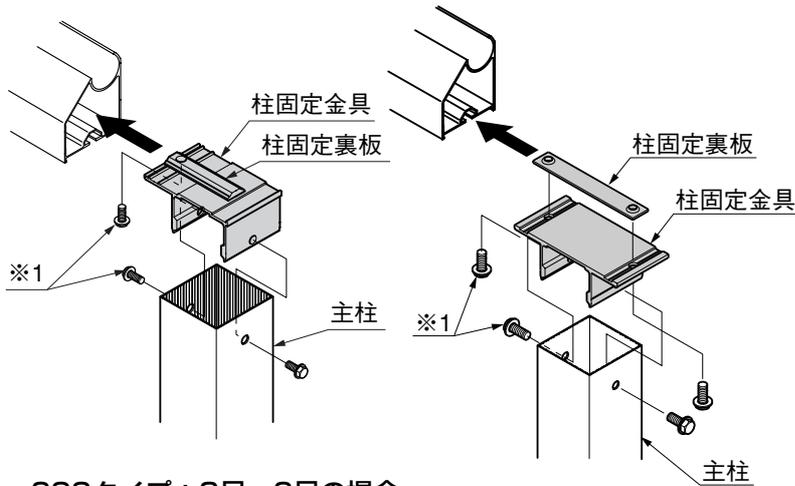
**補足**

- 垂木掛けおよび柱の施工は「サンクテラスR・Fタイプ (Z107~110, Z114)」の取付説明書をご参照ください。

**ポイント**

- コンクリート施工は骨組完了後に行なって硬化後屋根材を組込んでください。
- アンカー棒は必ず取付けてください。
- 土など基礎に水がたまりやすい場合は、基礎自体に水こう配をつけてください。

## 5. 柱と自在桁の組付け



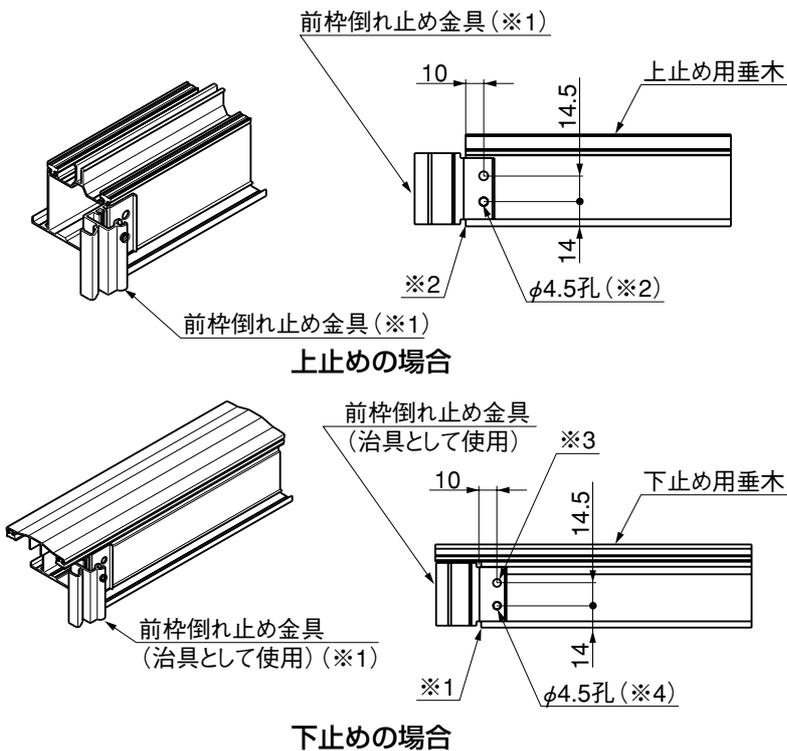
600タイプ：3尺～6尺の場合

- 柱固定金具を柱固定裏板に引っ掛けてそのまま自在桁の溝に挿入して、仮固定してください。柱固定金具を柱に差込んで、自在桁の位置出しをした後に固定してください。

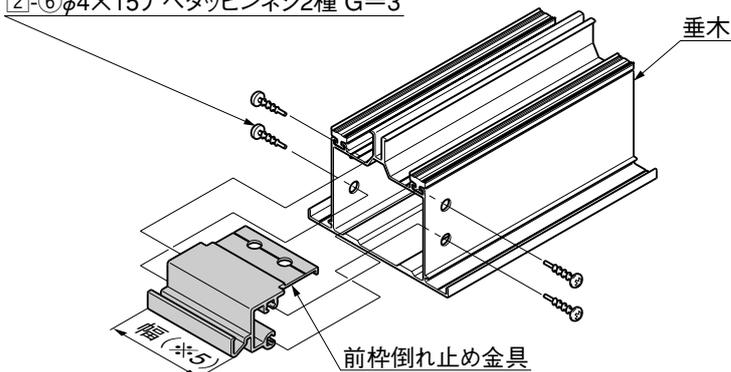
### 補足

- 連棟は、柱固定金具を最初に取り付けた自在桁に差込んでください。自在桁の連結が終了した後、自在桁全体を移動して、位置出しを行ない、柱と自在桁を固定してください。
- 柱の施工は「サンクテラスR・Fタイプ(Z107～110,Z114)」の取付説明書を参照してください。(※1)

## 6. 垂木の加工



- 1-⑥φ4×15ナベタッピンネジ2種 G=3  
2-⑥φ4×15ナベタッピンネジ2種 G=3



- 中間垂木、端部垂木の前枠側に前枠倒れ止め金具取付け用のφ4.5の孔を垂木の両側にあけてください。

### ポイント

- 前枠倒れ止め金具を治具としてください。(※1)
- 金具の段落ちした部分を垂木端部にあててください。次に金具を垂木のフィンにあたるまで下げ、穴加工をしてください。(※2)

### 補足

- 下止め用端部垂木には、あらかじめ1カ所穴加工がしてあります。(※3)
- φ4.5の孔を左右それぞれにあけてください。(※4)

- ①で加工した中間垂木、端部垂木に、前枠倒れ止め金具を①-⑥、②-⑥で組付けてください。

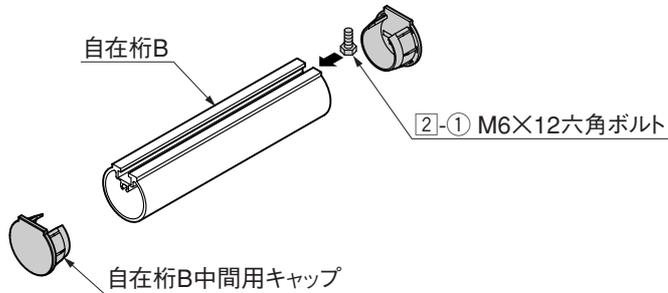
### 補足

- 前枠倒れ止め金具を固定するネジのうち、上側のネジは仮固定ネジです。
- 前枠倒れ止め金具には、中間用と端部用の2種類あります。中間用は幅が40mm、端部用は幅が38mmです。(※5)

## 7. 自在桁Bの組立て

### 7-1 上止めの場合

#### (1) 端部垂木用

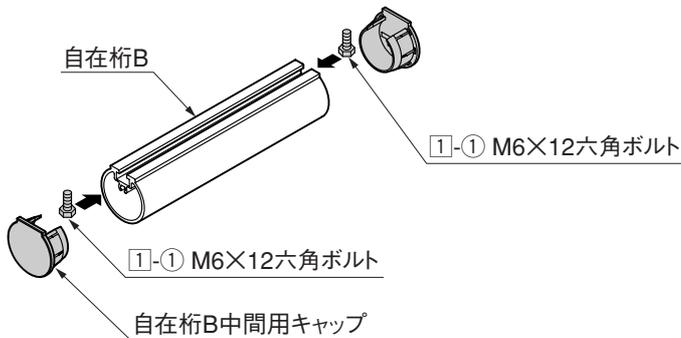


- 自在桁Bに2-1を1個挿入して、自在桁B中間用キャップを取付けてください。

#### ポイント

- Fタイプ9尺(1500タイプ)の端部垂木の自在桁Bには自在桁B-2と自在桁B-2用キャップを使用してください。組立ては自在桁Bと同じです。

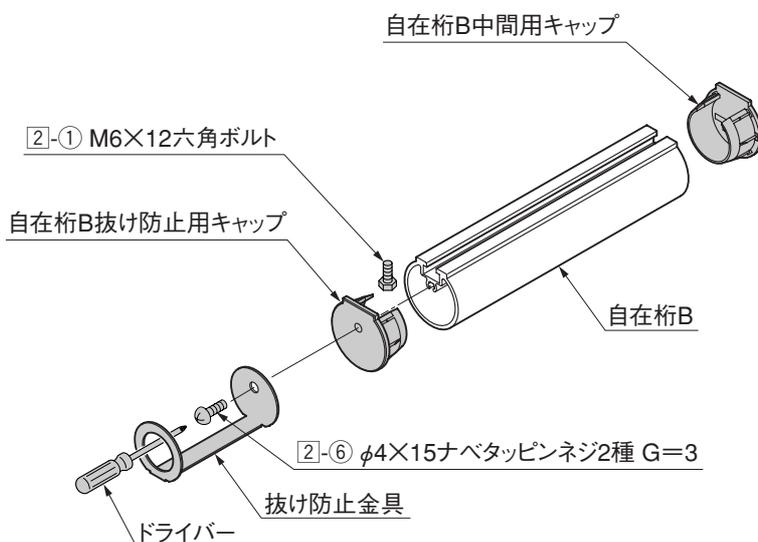
#### (2) 中間垂木用



- 自在桁Bに1-1を2個挿入して、自在桁B中間用キャップを取付けてください。

### 7-2 下止めの場合

#### (1) 端部垂木用



- 自在桁Bに2-1を1個挿入してください。
- 自在桁Bに自在桁B中間用キャップと自在桁B抜け防止用キャップを取付けてください。

#### 補足

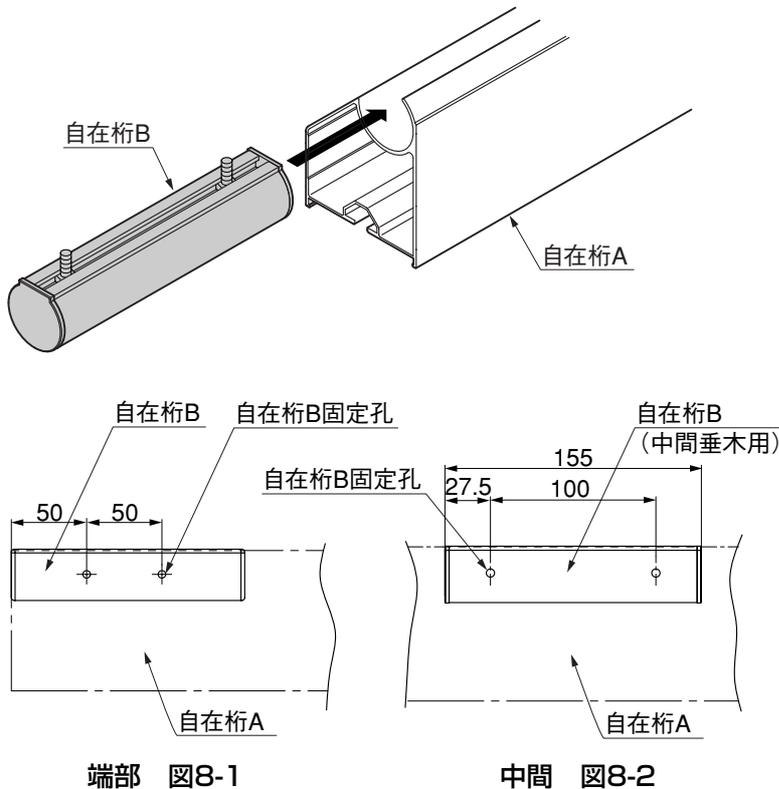
- 自在桁B中間用キャップには孔はありませんが抜け防止用キャップには孔があいています。

- 抜け防止金具を2-6を使用して取付けてください。

#### 補足

- 中間垂木用の自在桁Bの組立ては上止めと同じです。

## 8. 自在桁Aと自在桁Bの取付け



- ① 「7.自在桁Bの組立て」で組立てた自在桁Bを自在桁Aに挿入してください。
- ② 自在桁Aの両端部には、端部垂木用自在桁Bを挿入してください。
- ③ 自在桁Aの中間部には、中間垂木用自在桁Bを挿入してください。
- ④ 下止めは、抜け防止金具をつけた自在桁Bを端部に挿入してください。

### ポイント

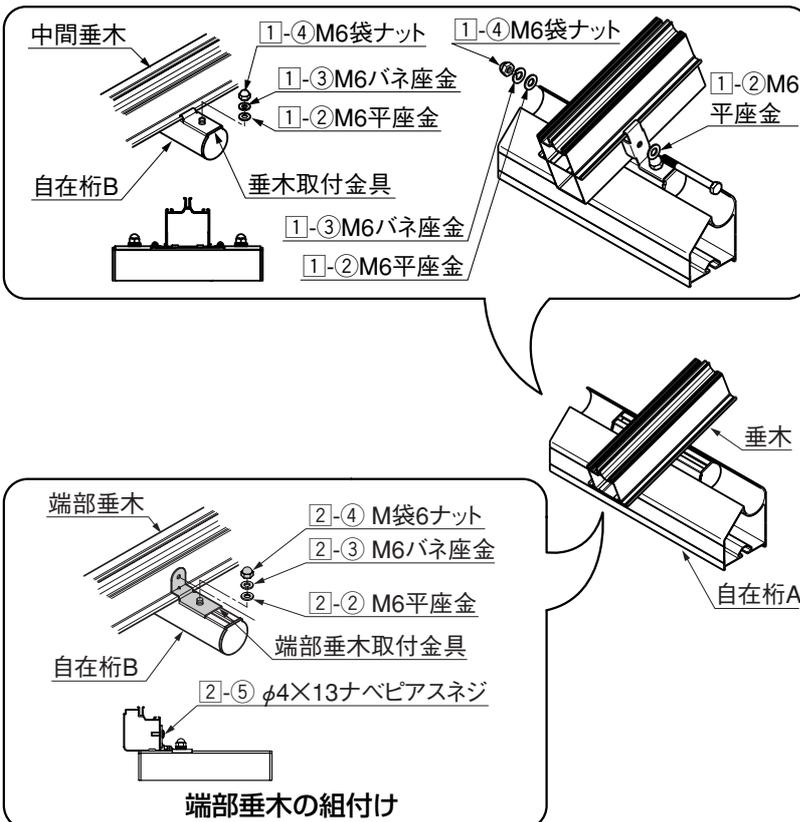
- Fタイプ9尺(1500タイプ)の場合、端部垂木には、自在桁B-2を取付けてください。
- 順序を間違えると垂木の取付けができなくなります。

### 補足

- 端部垂木用自在桁Bは、自在桁Aの端部とそろえた位置においてください。(図8-1参照)
- 中間垂木用自在桁Bは固定孔の中心においてください。(図8-2参照)

## 9. 自在桁と垂木の組付け

### 9-1 上止めの場合



- ① 中間垂木と端部垂木を取付けてください。

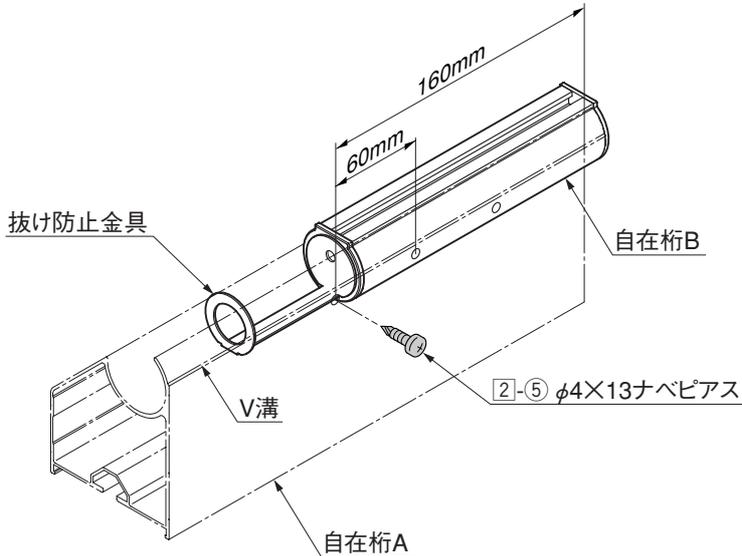
### 補足

- 垂木の取付けは「サンクテラスR・Fタイプ(Z107~110,Z114)」の取付説明書を参照してください。
- Fタイプ12尺・15尺の場合は、垂木取付金具にあいている孔を利用してφ7の貫通孔をあけてください。
- 中間垂木を取付ける自在桁Bは固定孔の中心に取付けてください。端部垂木は自在桁Bの端部から17.5mmはみでた位置で固定してください。「3.垂木納り図」を参照してください。

## 9. つづき

### 9-2 下止めの場合

#### (1) 端部垂木の組付け



- 1 抜け防止金具付の自在桁Bを挿入している方の自在桁Aの端部から160mmの位置に2-5を取付けてください。

#### 補足

- 下孔はあいていません。

#### ポイント

- 2-5のネジは、抜け防止用ネジです。

- 2 「9-1 上止めの場合」と同様に中間垂木と端部垂木を取付けてください。

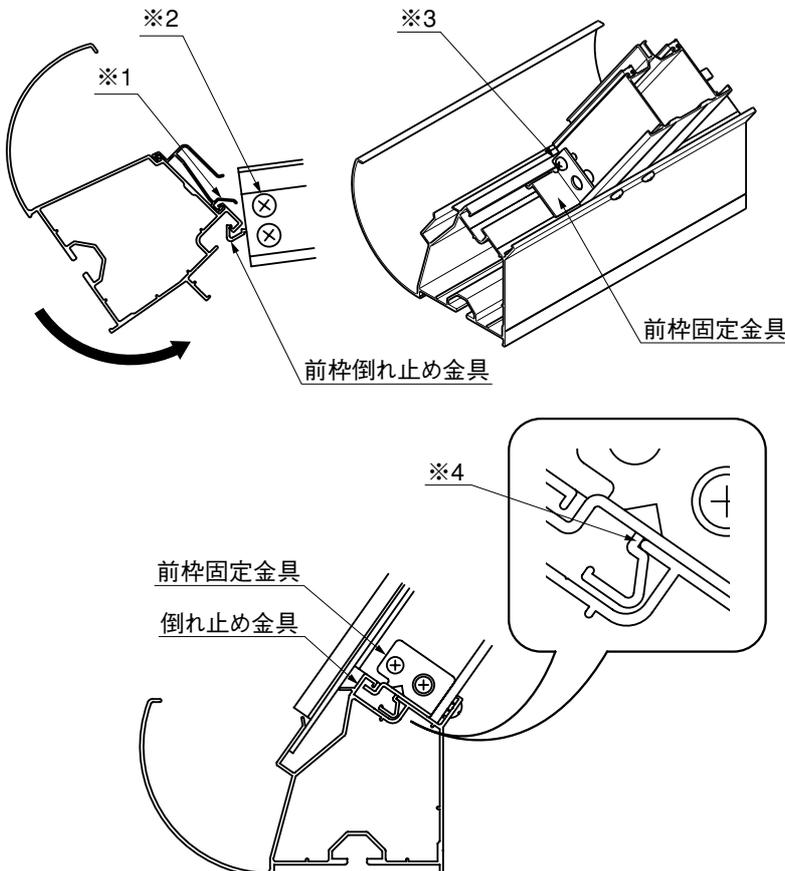
#### 補足

- 垂木の取付けは「サンクテラスR・Fタイプ(Z107~110, Z114)」の取付説明書を参照してください。

#### 補足

- 中間垂木の組付けは上止めと同じです。

## 10. 前枠の組付け



- 1 前枠倒れ止め金具に前枠を引っ掛けて(※1)、垂木側に回転してください。

#### 補足

- 前枠の施工は「サンクテラスR・Fタイプ(Z107~110, Z114)」の取付説明書を参照してください。

- 2 前枠倒れ止め金具を固定している※2のφ4×15ナベタッピンネジの上側のネジを一旦外してください。

- 3 前枠固定金具を前枠に引っ掛け、2で外した※2のφ4×15ナベタッピンネジで固定してください。(※3)

#### ポイント

- 倒れ止め金具の溝に前枠がはまるように調整してください。(※4)

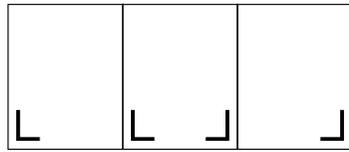


図10-1 前枠固定金具取付け位置  
奇数スパンの場合

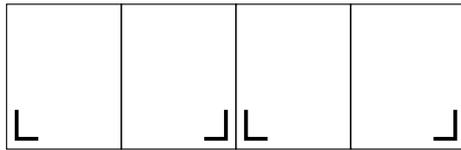


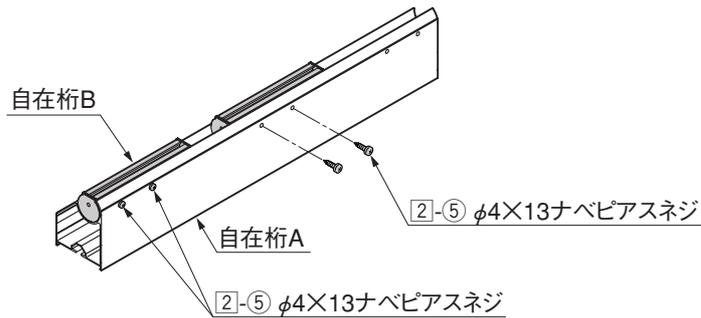
図10-2 前枠固定金具取付け位置  
偶数スパンの場合

- ④ 前枠固定金具の取付け位置は両端部垂木と、中央の垂木連棟する場合は連棟部の垂木の2カ所を取付けてください。(図10-1,図10-2参照)

補足

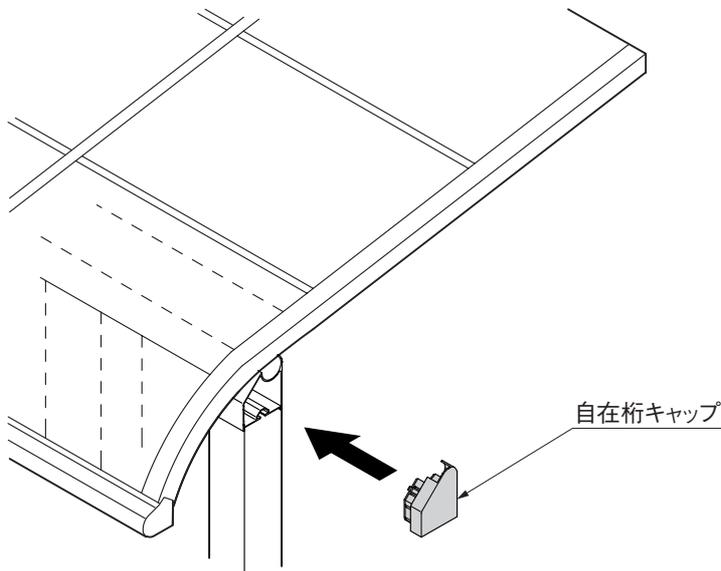
- 前枠固定金具は下止めのスライド部品をつける端部垂木には取付きません。

## 11. 自在桁Aと自在桁Bの固定



- ① 自在桁Aと自在桁Bを②-⑤を用いて固定してください。

## 12. キャップの取付け

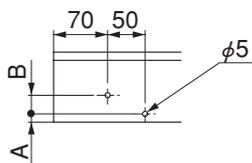


- ① 自在桁キャップを取付けてください。

補足

- 自在桁キャップはネジ止めの必要はありません。

## 13. 連棟時の取付け



自在桁種類	A寸法	B寸法
A-1	11	25
A-2	56	25
A-3	81	25
A-4	101	25
A-5	40	78

図13-1 自在桁A孔加工

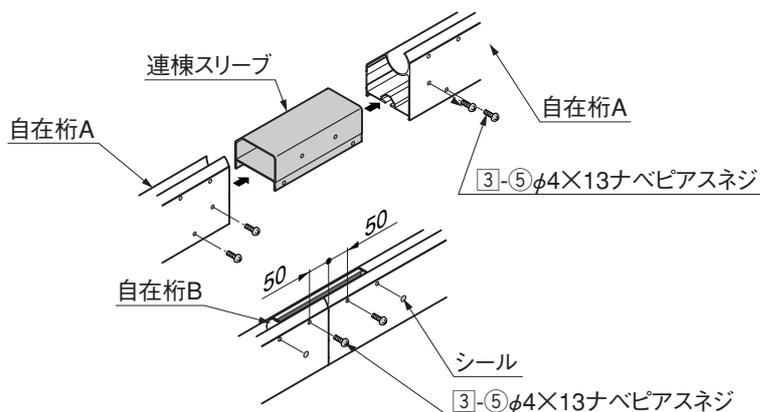


図13-2

- ① 自在桁Aに連棟スリーブ取付け用の孔加工をしてください。  
(図13-1参照)
- ② 連棟スリーブを片側の自在桁Aに入れて③-⑤で取付けた後、反対の自在桁Aに取付けてください。
- ③ 連結部に取付ける自在桁Bの取付けは自在桁Aをまたぐように取付けてください。
- ④ 残った孔はシールでふさいでください。

## 14. 2.5間自在桁の連棟

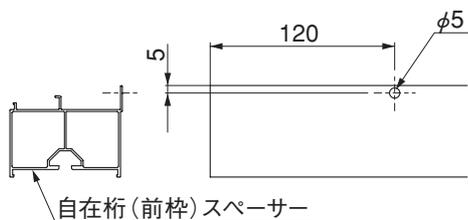
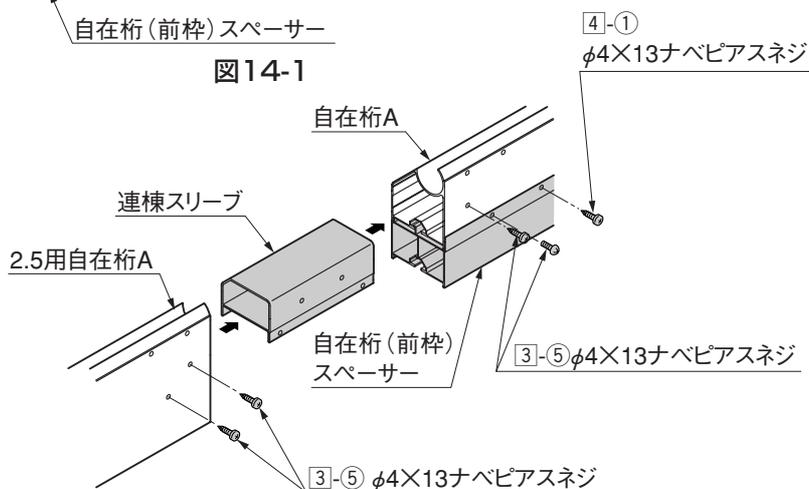


図14-1



- ① 自在桁Aと自在桁(前枠)スペーサーを④-①で取付けてください。

### ポイント

- 3尺～6尺の時は2.5間用自在桁スペーサーを7尺～10尺の時は前枠用スペーサーを使用してください。

- ② 自在桁(前枠)スペーサーの連結部に貫通孔を加工してください。  
(図14-1参照)
- ③ 自在桁Aと2.5間自在桁Aの連結部に「13.連棟時の取付け」を参考に加工してください。(図13-1, 図13-2参照)
- ④ 連棟スリーブを③-⑤で固定してください。

取説コード

**Z104**

200108A\_1007  
200307E\_1007